



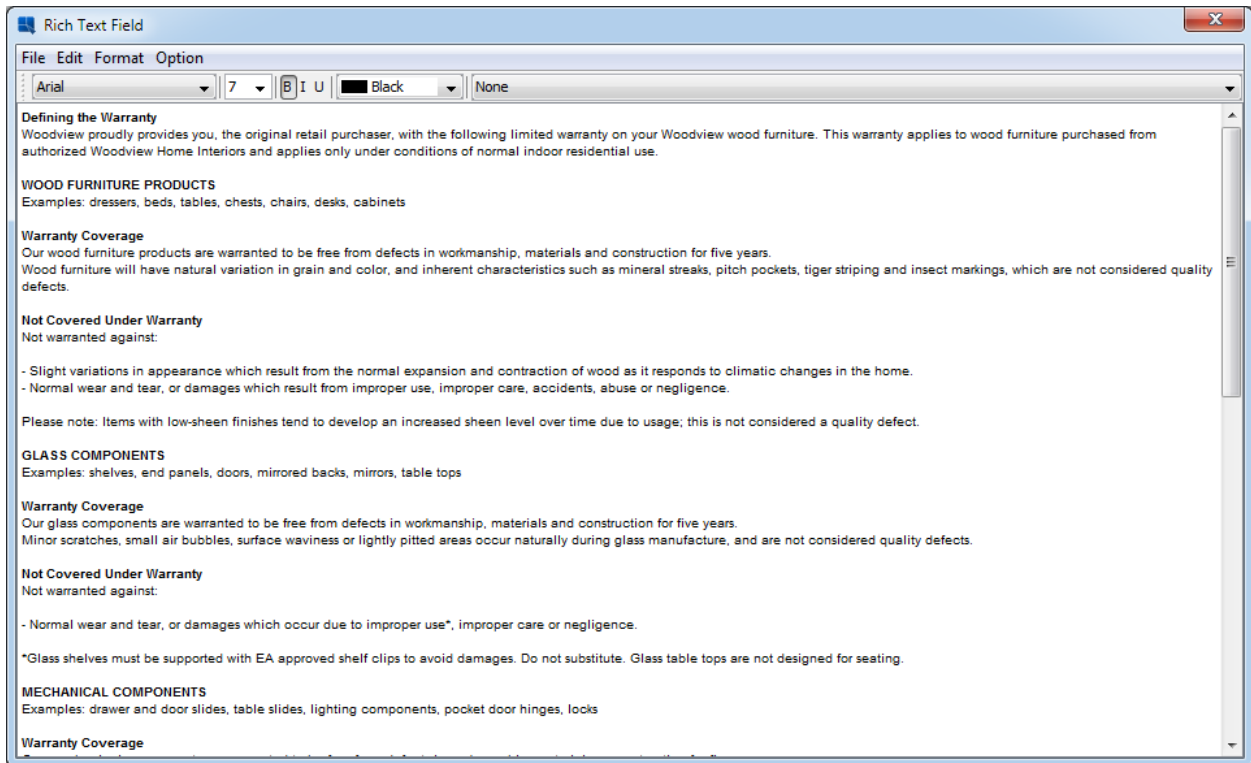
## 実習 3 8 : リッチテキストに対するコラム・レイアウト (段組) の適用

### ステップ 1 : レポートを開く

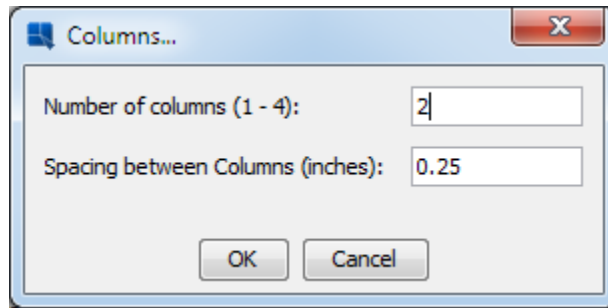
1. 実習 1 8 で作成された“Invoice”レポートを選択し、ツールバーの「Open」  ボタンをクリックします。該当するレポートは Report Designer でオープンされます。

### ステップ 2 : リッチテキストフィールドを挿入

1. グループフッタ欄を拡張するため、欄の下方境界をドラッグします。
2. ツールバーの「Rich Text Field」  ボタンをクリックします。デザインウィンドウ内にマウスポインタ近くに点線の矩形が表示されます。右側の集計関数の下にあるグループフッタ欄の左側に矩形をクリックし配置します。リッチテキストエディターが開きます。
3. リッチテキストエディタにて、ファイルメニューから「Import File」を選択します。  
<TrainingFilesDir>/data ディレクトリを参照し、“Warranty.rtf” ファイルを選択、「Ok」をクリックします。テキストがエディターにインポートされます。



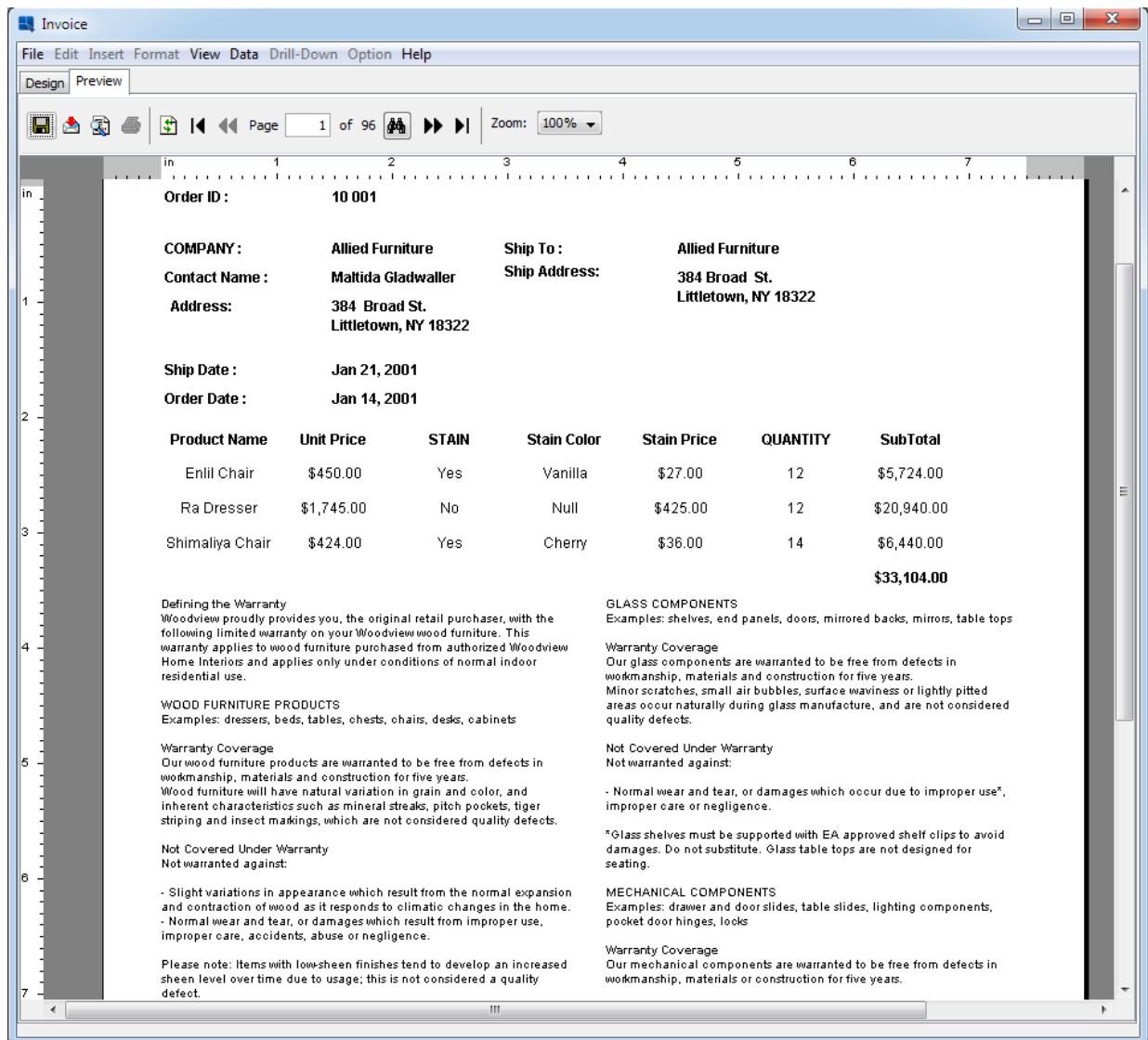
4. オプションメニューから「Columns」を選択します。ダイアログが表示され、リッチテキストフィールドにコラム・レイアウトを作成することになります。コラム数を“2”に設定し、コラムの間隔を“0.25”に設定します。



5. コラムの設定を適用するため、「Ok」をクリックします。この設定はリッチテキストエディタでは表示されません。次にテキストエディタのファイルメニューから「Done」をクリックします。

### ステップ 3 : リッチテキストフィールドを位置

1. リッチテキストフィールドは、小さなグレーの矩形で表示されます。フィールドを選択し、フィールドのどれか一つの角ドラッグし、レポートのコラムの幅に調整します。
2. リッチテキストフィールドを右クリックし、ポップアップメニューから「Resize to Fit Content」を選択します。ダイアログにて、テキストと合うようリサイズするために「re-size to fit content field」をチェックし「OK」をクリックします。
3. 実際のデータを使用してレポートをプレビューします。請求書の下にあるリッチテキストフィールドの表示は2つのコラムになりました。



#### ステップ4：レポートを保存

1. レポートの変更内容を保存するため、「Save」アイコンをクリックします。
2. Report Designer を閉じます。